

一年を振り返って

区長部

「まちづくり」5ヵ年計画スタート!

区長部長 上野 誠

令和5年度は完成した「第三次若槻まちづくり計画」の初年度で、役員も不慣れだったこともあり、スタートを切るのがやや遅れたと反省しています。

- 地域内での支え合い推進の新規事業として掲げられた「ご近所支え合い運動」は、災害時に限らず、身近な火災・事故の発生時に近所で緊急連絡や共助ができる仕組みを構築しようとするものです。この運動の土台となる「避難行動要支援者事業」に対する各区の取り組みが不十分な状況であるため、先ず民生児童委員の支援を得て「ひとりでの避難が難しいかた」の把握と「支援(協力)者」の選任を進めています。
- 第6回若槻総フェスタを10月に開催し、地域の一般参加者と清泉女学院大学学生や北部中学校生徒のボランティア、コミわか役員等運営スタッフなど総勢950名ほどが参加し、天候にも恵まれて屋外では飲食の販売も復活して休日の半日賑やかに過ごしました。今後の更なる充実に向けてご意見などいただければ幸いに存じます。
- 区長部研修視察では区長・副区長などで「いいづなお山の発電所」(浅川中曽根)を訪問して、木質チップを燃料とする木質バイオマス発電所の今を見学してきました。
- 近隣住民自治協議会との意見交換は、コロナ感染症の影響で3年間実施できていませんでした。浅川地区住民自治協議会との情報交換会を4年ぶりに開催し、代表者20名ほどではありましたが、両地区共通の課題と今後の会の進め方について協議しました。

来年度は前記まちづくり計画(5ヵ年)の2年目となります。新しい力で目標「住んでみたいまち 住んで良かったまち 若槻」に踏み出すことを期待します。



生活安全部

生活安全部 本年度を振り返って

生活安全部長 玉井 良明

令和5年度は、新型コロナの感染症5類への移行の中で、感染対策を取りながら事業を進めてまいりました。生活安全部は、防犯部会と交通安全部会の二部会の活動を通して、若槻住民の子供たちと高齢者が安全で安心な生活を送れる地域を目指しています。

【防犯部会事業として】

1. 子ども見守りパトロール(毎月第4水曜日)
小学校の通学路の主要な交差点に立ち、安全を見守る事業
2. 車で見守るパトロール(毎月第1水曜日)
青パトで、下校する通学路の危険箇所巡回
3. 青少年地域定期パトロール(毎月第3月曜日)
地域内の店舗・遊戯施設などの巡回
4. 防犯パトロール(本年度の新規事業)
地区毎に、従来の防犯パトロールを踏襲して実施

以上の四つのパトロール事業を中心に行ってまいりました。

【交通安全部会事業として】

1. 市道への白線塗布(4~5月)
スプレーにより、市道の停止線等に白線を塗布する事業

2. 交通安全・防犯教室(6月) 本年は4年ぶりに実施
高齢者の交通事故、特殊詐欺防止のために行なう事業
 3. 児童への街頭指導(4・9月)
地区毎に児童の安全な通学を見守る事業
 4. 自転車指導(本年度の新規事業)
交通安全・防犯教室の中で自転車運転等の指導
- 以上の四つの事業を行ってまいりました。



これからも、若槻地区の子供たち・高齢者を交通事故や特殊詐欺から守り、安心して安全な暮らしをしていける地域にするために、今後ともコミわか事業にご支援とご協力をお願いいたします。